

英語学習法（後編）

後編では個人の経験およびビジネス雑誌『プレジデント』の「非ネイティブのための 英語勉強法」を参考に、効果的な英語勉強法の具体例を中心に進めて行きたいと思います。その前に、英語を始める時期について、前編の続きと言うか、その後に読んだ書籍から大変参考になる意見を見つけることが出来たので、追記と思って書いていきます。

参考になる書籍とは、2 人の数学者の本です。1 人は『ボクは算数しか出来なかった』等の著者で日本人初のフィールズ賞受賞者・小平邦彦氏。もう 1 人は『生きること 学ぶこと』等の著者で同じくフィールズ賞受賞者・広中平祐氏。小平氏の著書に記してあったこと、それは幼いころに力を入れたら良い教科（勉強）は国語と算数であるとのこと。数学者が自身の矜持のためにそう言ってる訳ではなく、基礎学力・基礎教科の重視を謳っています。子どもの時に習得しておかなければ、大人になってから覚えられないこと（たとえば読み書き）がある。大人になってからでも簡単に覚えられること（たとえば目玉焼きの焼き方）がある。そして、どの教科

にもそれを教えるのに適当な年齢—適齢があり、適齢に達していない子どもにその教科を教えようとする、教える内容はつまらないものになり、結局時間と労力の浪費になってしまう。お2人の著書の執筆時代はまだ小学校に英語という教科は存在していなかったため、英語を始める適齢期等には出てきませんが、基礎教科の国語・算数に十分時間をかけて、余った時間に理科・社会をやるということを推奨しています。英語がどちらの部類に入るかは分かりませんが、中学1年生という年齢からでも遅くはないと経験から思います。そして、広中氏がその著書の中で算数・数学に時間をかけた方がよい理由は、現代のように何事もスピードが重視され過ぎて、多くの判断を出来るだけ短時間で次から次に行っていけないと、毎日の生活すらままならない時代において、じっくり物事に向き合い1つ1つ本質は何かと哲学的な思想も交えつつ論理的に数週間、時には数ヶ月数年と長きに亘って考え続ける数学という学問の一端を、小学生の頃に算数と言う教科で時間をかけて学ぶことは、人生において大切な決断をしないといけな場面においてとても役に立つ能力になる。じっくり本質に立ち返って決断しないといけな選択の場面で、時間に追われているような感覚（習慣）で短絡的に物事を決めてしまわないように。そして、おまけにもう1人皆さんも良くご存じの今ではTVでお馴染みの、東進ハイスクール

の人気国語講師・林修先生も幼いころに力を入れる教科として算数・数学を上げていました。特有の表現で説得力を持って断言していました。

と
言うことで、私が勝手に考える英語学習の適齢期は中学 1 年生でいいんじゃないかと、一旦結論付けて先に進みたいと思います。(小学校時代は国語・算数の基礎教科に可能な限りの時間を充てる。)

では、具体的な勉強方法について、プレジデントに記載の英語が出来ない人の残念な勉強法ワースト 20 を参考に、私や妻の過去の勉強法と、現在中学校 3 年生の長男と中学校 1 年生の次男の勉強する姿も交えながら書いていきます。ちなみに、ワースト 20 の内容の一部を逆に解釈し、効果的な英語勉強法として変換し、大きく『英単語』についてと『長文読解』の 2 点にまとめてみようと思います。今回は中学から始めることが前提の英語勉強法なので、英会話 = スピーキング・リスニング (留学時やビジネスシーンで必要な) についてはまた別の機会にしようと思います。と言うのも、私自身今は全く英語を話す機会はなく (20 年近く)、2 年ほど前にイギリスの留学生 (高校 3 年生) を 1 日だけホームステイ受け入れをした時には (もちろん逆の意味で) ビックリするくらいのレベルになっていた

ことに自分でも驚いてしまいました。言葉は使わないとドンドン錆びていくことを強烈に実感しました。そういう意味で、退化していく理由は分かっているのです、私の失敗から学ぶ英会話勉強法はまたの機会（英語勉強法・番外編）でお伝え出来ると思っています。

英単語について。とにかく英単語を覚えることが必須です。そのために後になってから後悔してしまうことは、小学校の時に習うローマ字です。英語の表記はもちろんローマ字表記とは違いますが、ローマ字を習うときに基礎中の基礎、アルファベットを習得出来ます。初めて見る英単語をなんとなく読めるのと、全く検討もつかないのとでは大違いです。特に初めの頃に出てくる（覚えなくてはいけない）英単語は読めれば意味が分かります。ほとんどが、既に外来語として日本語と認識されているものや、普段から英語のまま使っている単語が多いからです。例を数点、door apple dress ball open push beautiful fast U.S.A などなど、まだまだ沢山ありますよね。このような英単語は、読めれば意味が即分かるので、英語学習初期における意欲向上に大いに役に立つと思います。そして、どれくらい覚えたら良いかと言えば、出来るだけ沢山。私が高校時代、1度目の短期

留学から帰って来て取り組んだのが、単語帳でひたすら英単語を覚えることでした。明らかに語彙力が不足していて自分の思っていることを表現出来ずに歯痒い思いをしました。そこで、大学受験に必要な「英単語 1800」みたいな単語帳を購入し、必死に覚えることで、英語の成績が飛躍的に伸びたのを思い出します。長男は英検を受ける際に「でる順パス単〇級」と言った単語帳を都度購入して覚えていました。次男は学校から提供された「キクタン・中学英単語」を今必死に覚えています。プレジデントにもまずは英単語を 3000 語程度（後述：1 単語 1 訳対応で）覚えることをお勧めしています。そして覚え方を数点、まず、1 単語 1 訳（1 つの単語につき複数の意味を覚え不要）だけ覚える。人間の脳は 1 対 1 対応が 1 番覚えやすいそうです。次に、1 単語 1 秒で『見て覚える』。『書いて覚える』は効率が悪いそうです。実はこれ、私はやってしまっていたが、私より圧倒的に習得スピードが速い長男は『見て覚える』をしていました。やっぱり、『見て覚える』方が正解だと思います。そして、その 1 秒見るを何度も繰り返すことが効率の良い暗記法のようなのです。最後に、英単語を覚える際は英単語のみに集中。長文の中で覚えたり、英文法も同時に覚えたりは NG。一般的な英語の授業は、長文（文章）読解をいきなりやり、その中で出てくる単語を調べて覚える手順ですが、単語帳を使ってとにかく

単語のみを覚える。英熟語・英文法も基本、英単語の覚え方と同じやり方で良いそうです。1 単語（熟語・文法）1 秒を何度も繰り返して暗記する。

ちなみに、子育ての経験（4 人）から、赤ちゃんが言葉を覚える順番も、まずは単語からです。単語を一生懸命話そうとします。単語を飛ばして文章を話し出す子は少なくともわが家にはいませんでした（笑）。言語を習得していく過程では自然なことなんだと思います。

そして、長文読解について、長文読解を始める前提はまずは単語や熟語をある程度覚えてから、プレジデントによるとある程度と言うより TOEIC600 点までは長文に手を出すなと書いてあります。実際、学校の授業やテストで長文は出てきてしまうので、やらざるをえないですし、中学校や高校で自分が TOEIC600 点以上かどうかなんて分からないので、習った単語や熟語で書かれているレベルの長文で読解の練習を始めて行く方が現実的だと思います。その上で、まずはやってはいけない事として、文中に出てくる未習単語を 1 つずつ辞書で調べる事。よく言われるように、前後の文章から推測して読み進める事。文中に出てくる単語のほとんどは分かっている前提なので、そんなに難しく無いはずです。未習単語が多くて推測できない場合は、もう少し単語を覚えてから取り組むか、長文のレベルを下げるかのどちらかをしないといけません。そして、人差し指でなぞ

りながら、1行1秒のペースで読んでいく。これを1日3～20長文繰り返し。1行1秒、1日3～20長文はプレジデントの指標なので、それに近づけるよう努力してみてください。

私も妻も高校生まで上記のような効率的なやり方で英語学習をしてきませんでした。そのため、多くの時間をかけてしまいました。大学に入りそれぞれロシア語・ハンガリー語を習得する際も決して効率良く学習していたとは言えません。何故なら学習法を知らなかったから。知らなかったと言うより、勉強する方法なんて考えもしなかったから。与えられたテキストや問題集を頭から順番にやるだけ。高校生までは与えられた授業を大学では履修した授業を受けるだけ。そして、その授業やテキストの範囲のテストを受ける。素直と言えば、聞こえは良いですが、創意工夫も無く指示に従っていただけ。幸い語学に関する勉強が嫌いではなかったのも、非効率でも時間をかけて何とか習得していましたが、出来るようになると楽しくなる、楽しいからどんどん自主的に進んで取り組むようになる。その好循環を英語学習だけに限らず、勉強全体に取り入れられたらと思い、具体例を中心に後編は書いてみました。与えられた指示を実直にこなして

行く、所謂作業は人間がやるには生産性が低く、AI にとって代わられています。勉強は子どもだけがするものではなく、大人になってもずっと必要な能力です。子どもたちと一緒に正しい方法で楽しく学習していけるよう、良ければ参考にしてみてください。

ソニー生命保険(株) 大分支社

〒 870-0029 大分市高砂町 2-50

オアシスひろば 21 9 階

TEL 097-532-9200

ライフプランナー 山田新悟